

## ヨーロッパ オレンジ果汁価格が最高値を更新

FreshPlaza 2024年7月5日

ブラジルのオレンジ生産量が少なく、それに伴ってオレンジ果汁の入手が世界的に困難になるとの見通しにより、EUにおける濃縮オレンジ果汁のエクスパナ (Expanso) 社指標価格 (EBP) は、6月28日に前年比112%増の6,550ドル/トンに達した。ブラジル・サンパウロ州の柑橘類生産者と果汁業界が支援する団体であるFundecitrusは2024年5月10日に、2024-25年度のサンパウロ州とミナスジェライス州西南西部の柑橘類ベルトの収穫予測を発表した。予測生産量は2億3,238万箱 (40.8kg/箱) で、前年度の3億722万箱から24.36%の減少となる。この予測生産量は、この地域で1988-89年度以降2番目に少ない収穫量となる。カンキツグリーニング病と、2023年9月の厳しい熱波などの悪天候が水ストレス、落果の増加、果実の小玉化に繋がり、作柄に大きな影響を与えた。

世界のオレンジ果汁の75%以上を供給するブラジルでは、オレンジ果汁の在庫がほぼ皆無である。買い手は価格が不安定なため短期契約にしか応じないが、生産者らは自らの生産能力に不安を抱いている。

ヨーロッパのメーカーは、オレンジ果汁の入手が限られているため、ブレンド中の使用量を減らすことでオレンジ果汁の影響を最小限に抑えようとしており、中には販売を中止したメーカーもある。業界内では、オレンジ果汁をマンダリン果汁に置き換えようとしているメーカーがあるという話さえ聞かれる。今年の残りの期間、供給状況がますます悪化するよう見え、価格の安い古い契約が終了するにつれて小売価格が上昇するため、オレンジ果汁の世界的な消費量は引き続き減少すると予想される。市場関係者によると、価格が安定するためには需要がさらに減少する必要があるが、正確にどの水準で均衡するかは、依然として不明確である。

出典: [mintecglobal.com](http://mintecglobal.com)

## 海上コンテナ運賃 総合指数が続騰

FreshPlaza 2024年7月5日

ドリュエリー社世界コンテナ指数の総合指数は今週、10%上昇して40フィートコンテナ当たり(以下同じ)5,868ドルとなり、前年同週と比較して298%上昇した。これは、前回のパンデミック時のピークである2021年9月の10,377ドルを43%下回っているが、2019年(パンデミック前)の平均である1,420ドルより313%高くなっている。

年初来の平均総合指数は3,664ドルで、10年平均の2,756ドル(2020年から22年までのコロナ禍で膨らんだ)を909ドル上回っている。

上海からニューヨークまでの運賃は、17%(1,331ドル)上昇し、9,158ドルとなった。同様に、上海からロサンゼルスまでの料金は12%(799ドル)上昇し、7,472ドルとなった。上海からロッテルダムまでの運賃は10%(734ドル)上昇し、8,056ドルとなった。さらに、上海からジェノバへの運賃は、7%(471ドル)上昇し、7,573ドルとなった。

また、ニューヨークからロッテルダムまでの運賃は2%(16ドル)上昇して656ドルとなった。逆に、ロッテルダムから上海までの料金は、5%(33ドル)下落して643ドルとなり、ロッテルダムからニューヨークまでの運賃は3%(67ドル)下がって1,977ドルとなった。ロサンゼルスから上海への運賃は横ばいであった。ドリュエリー社は、アジアの港湾が混雑の問題を抱えているため、中国発の運賃がわずかに上昇すると予想している。

出典: [drewry.co.uk](http://drewry.co.uk)ドリュエリー社世界コンテナ指数(WCI)総合指数  
2024年7月4日(ドル/40フィートコンテナ)